



平成29年4月11日

**「第三世代が考えるヒロシマ『 』継ぐ展 2017」に向けて
本学学生が4月15日に被爆者のインタビュー取材をします**

「第三世代が考えるヒロシマ『 』継ぐ展 2017」が、東京都世田谷区の世田谷ものづくり学校（7月30日～8月8日）と、広島市中区の平和記念公園（8月6日）で開催されます。展示に向けて本学の学生ボランティアが4月15日に被爆者や被爆体験伝承者へのインタビュー取材を行います。

同展は、東京在住の若手クリエイターたちが、若い世代や親子連れに向けた平和学習の場所を提供し、戦争体験者と非体験者をつなげることを目的に開くイベントです。本学や首都圏の大学の学生たちも企画・制作に参加します。よこはまみなとみらいで開催した昨年に続いて3回目となります。

本学は文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」（COC）に採択された「平和共存社会を育むひろしまイニシアティブ拠点」への取り組みを契機に、広島平和記念資料館との間で包括的連携協定を締結し、広島から平和を発信する取り組みを進めています。本学では、必修授業の平和科目をベースに、平和記念資料館での能動的な作業を通じ、卒業後も国内外で被爆の実相を伝承・発信することができる人材育成を目指しており、このような立場からこのプログラムに協力しています。

「継ぐ展2017」メイン会場の世田谷ものづくり学校では、ヒロシマナガサキ被爆の実相ポスター展示や被爆体験者のメッセージパネルを展示します。また、本学などのボランティア学生が広島の被爆者や平和活動者に行ったインタビュー取材の内容を文字に起こし、webサイト、冊子にまとめる予定です。

このほかオープニングイベントとして7月30日（日）に映画「この世界の片隅に」のバリアフリー上映を行います。

被爆者・被爆体験伝承者へのインタビューは、4月15日（土）11：00から出汐町旧被服支廠に集合して行います。このほか、8月6日平和記念公園内「継ぐ展ブース」の運営スタッフや、7月30日～8月8日の世田谷ものづくり学校「継ぐ展」の運営スタッフとして参加する学生も募集しています。

【継ぐ展 2017 実施概要】**●平和学習資料展示**

- ・広島平和記念資料館寄贈のパネル、原爆瓦、絵本など平和学習資料(日英)を展示
- ・広島県の被爆者・伝承者へのインタビュー展示
- ・絵本作家西村繁男氏の「絵で読む広島原爆（福音書店）」原画展

●自由研究ツール配布

夏休み期間中の子供たちに向け、会場に来て答えを見つける自由研究ツールをネット上で配布。会期中に自由研究をスタッフとともに作るワークショップも開催。

●仮想空間へのとうろう流し

独自開発のアプリを使い、平和へのメッセージを込めたとうろうを ipad を使って仮想空間の川に流す。8月6日の広島とうろう流し会場へメッセージを届ける。

●参加型のイベント / ワークショップ

- ・オープニングイベント映画「この世界の片隅に」バリアフリー上映
- ・被爆者・伝承者と対話を行うコーナーを設置
- ・ボランティアによる原爆に関する絵本の読み聞かせ

【平和共存社会を育むひろしまイニシアティブ拠点】

平成 25 年度「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」に採択され、広島地域の共通課題である「ひろしま平和発信」、「中山間地域・島しょ部（条件不利地域等）対策」、「障がい者支援」の3つの重点課題の解決に地域と連携して取り組んでいます。

【お問い合わせ先】

文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」

ひろしま平和発信

教育研究推進員 地域志向コーディネーター （平和記念資料館学芸課）

久保田 良枝

TEL 080-3875-9826

ヒロシマ「」継ぐ展実行委員会

代表 久保田 涼子

Mail: hiroshimatsuguten@gmail.com

TEL 080-1916-8638

発信枚数：A4版 2枚（本票含む）